



私立大学入試の今、そしてこれから

開催日時： 令和5年1月17日（火）14時～17時

開催方法： オンライン開催（Zoom）

参加費： 無料

参加対象： 学長会議登録者（私大連会員法人設置大学の学長等）

※副学長に該当する役職者の参加も可能です。（複数名可）

※講演・問題提起は、どなたでも傍聴できます。（上記を除く1～2名。

要申込。申込者が多数の場合、調整をお願いする場合があります。）

【開催趣旨】

大学入試については、高校教育で育まれた学力の3要素を多面的、総合的に評価する観点から、高大接続改革の一つとして検討が行われてきました。その結果、令和2年度からは、知識・技能に加え、思考力・判断力・表現力を問う大学入学共通テストが導入され、令和6年度からは「情報」が追加される予定です。各大学の特色に合わせて多様な入試を行なっている私立大学にも、これらの改革の方向性を踏まえた入試の実施が求められています。

また、これからの複雑かつ予測不可能な社会に対応できる人材育成のため、教育未来創造会議や中央教育審議会大学分科会大学振興部会では、総合知の創出に向けた文理横断教育の推進に関する議論がなされています。そこでは、特に文系・理系という学問分野の壁を生み出す要因となっている高校教育、ひいては入学者選抜における各大学の出題科目見直しへの提言がなされています。

そこで、今回の学長会議では、私立大学入試が現時点で抱える課題を改めて確認した上で、求められる大学教育の実現に必要な入学者選抜について考察する機会とするため「私立大学入試の今、そしてこれから」をテーマに設定しました。教育の面からも経営の面からも重要課題である入学者選抜について、特に出題科目、試験方法、そして高大接続の観点から検討することで、各私立大学が自大学の特長を最大化し、社会要請に応えるための一助としていただきたいと思います。

本会議では、講演を通じ、文理横断的な大学教育が求められる背景や政策への認識を共有した上で、大学関係者と大学関係者以外の両視点から、現在の私立大学入試について問題提起をいただきます。その後、これらの講演内容を踏まえ、各大学が直面する入試上の課題と今後のあるべき姿について、グループに分かれて情報交換や意見交換を行います。



■プログラム内容

開会挨拶	14:00～ 14:05 (5分)	学長会議担当理事 阪本 浩（青山学院大学学長）	
講演	14:05～ 14:35 (30分)	文部科学省高等教育局 大学教育・入試課室長 平野博紀氏	文理横断教育の推進に向けた大学入試に関する国の動向
			先般、政府は、大学に対する「文理横断教育」やデジタル・グリーンと言った「成長分野」への強化を提言した。その提言を受け、現在、文部科学省では、総合知を育成するための入試科目の見直し、入学後の文理横断型の教育、複線的・多面的な学び、全学的なデータサイエンス教育等について「教学マネジメント指針」の見直しの具体的な検討に入っている。そこで、文部科学省の担当者から、大学入試の議論を中心に国の最新動向について説明いただく。
問題提起①	14:35～ 15:05 (30分)	日本私立大学連盟副会長 関西学院大学学長 村田 治氏	新しい時代に向けた私立大学の入試①
			混迷する不透明な時代においては、未知の問題を解決できる人材の育成が大学に求められる。そのためには、高校での文理分断を脱却するとともに、大学においては専門分野と同時に他の分野をしっかりと学ぶ「文理横断教育」を進め、専門分野のみならず広い視野を涵養する教育を推進しなくてはならない。とりわけ、人文社会科学系学部の多い私立大学においては、数学の知識習得は極めて重要な課題となる。ここでは、それらの課題を踏まえ、社会変化に対応する高校教育と新たな私立大学の入試の方向性を考える。
問題提起②	15:05～ 15:35 (30分)	日本経済新聞 客員編集委員 横山 晋一郎氏	新しい時代に向けた私立大学の入試②
			先般の大学入試改革は、一点刻みの入試から脱却し、学力の3要素を多面的、総合的に評価することを目的に進められてきた。しかし、記述式や英語入試をはじめ施策の多くが中途半端なまま課題として積み残されている。大学入試改革を追って来た記者の視点から、それらの課題を再確認し、これからの時代を見据えた私立大学の戦略的入試とその本質とは何かを問う。
休憩（10分）			
グループ討議	15:45～ 16:55 (70分)	下記「討議の柱」に沿って討議	
閉会挨拶	17:00	学長会議幹事会委員 佐々木 重人（専修大学学長）	

■グループ討議

- グループ討議では、Zoom のブレイクアウトルーム機能により、少人数のグループに分かれ、講演や大学における事例等を踏まえて幅広く討議いただきます。
- 当日の資料とする「グループ討議レジュメ」につきまして、下記期日までにご提出ください。

[討議の柱]

1. 出題科目 [主体性評価、大学独自の取組 等]
2. 高校教育に及ぼす効果 [高校教育の役割、入学者獲得、高大接続 等]
3. 入試方法 [大学共通テストの利用、総合型選抜、一般入試 等]
4. その他 [入試実施上の課題、文理横断に向けた入試改革 等]

■参加申込方法

URL : <https://www.l2.webcas.net/form/pub/renmei/gakucyo02>



または、[私大連ウェブサイト](#)へログインの上、「会員メニュー」→「参加する」から本会議の記事をクリックし、記事内の参加申込フォームへのリンクから登録してください。

■参加申込及びグループ討議レジュメ提出期限

参加申込・グループ討議レジュメ提出期限：令和4年12月23日（金）締切（必着）

■アクセス情報、資料等のご連絡

申込時にご登録いただいた参加者並びに担当部署メールアドレス宛に、令和5年1月13日（金）を目処に、会議参加のためのアクセス情報や資料等についてお知らせいたします。

■お問合せ先

一般社団法人日本私立大学連盟 総務会計課（千葉、石田、堀内）

E-mail : m-somu@shidairen.or.jp TEL : 03-3262-2420（直通）